

## 伊賀市役所 本庁舎 3月のアート情報

本庁舎で下記の展示を行っています

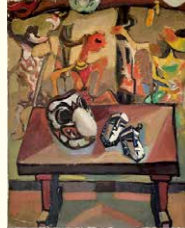
### ◆4階市民ミニギャラリー

○現代アート 森實春美作品展

### ◆1階玄関横

○伊賀市寄贈作品展

絵画「面とワヤン」 荒木 寛



○いけばな (伊賀華道協会)

※都合により展示物が変わる場合があります。

※観覧時間は市役所の開庁時間に準じます。

市民ミニギャラリー展示作品募集中

### 【問い合わせ】

美術博物館建設準備室

☎ 41-0400

FAX 22-9694



## 伊賀市ミュージアム 青山讃頌舎 だより



### ◆春の通常展「春を楽しむ 穂月明の花と新緑」

穂月明が水墨と淡彩で描いた清楚でこの上なく美しい草花をぜひこの機会にご覧ください。

【と き】 3月8日(金)～4月7日(日) 午前10時～午後4時30分  
(入館は午後4時まで) ※火曜日休館

【ところ】 ミュージアム青山讃頌舎

【料 金】 一般 300円 (高校生以下無料)

### ◆関連イベント

○ギャラリートーク「穂月明の庭と植物」

【と き】 3月17日(日) 午後1時30分～

【ところ】 ミュージアム青山讃頌舎

○呈茶「花の呈茶会」(要予約)

【と き】 3月30日(土)、31日(日)、4月6日(土)

①午前10時 ②午前11時 ③午後1時 ④午後2時

【ところ】 ミュージアム青山讃頌舎 茶室

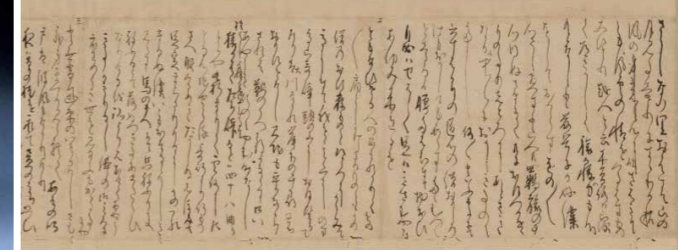
【定 員】 各回 12人

【料 金】 400円 (抹茶、お菓子代)

【申込先・問い合わせ】 青山ホール ☎ 52-1109



奥知勇取集古伊賀・古信楽器物類  
(県指定有形文化財)



更科紀行 芭蕉自筆稿本 (重要文化財)



元永定正「あかとみどり (Red&Green)」

## なぜ必要なの？

# 美術博物館の建設に向けて

【問い合わせ】 美術博物館建設準備室 ☎ 41-0400 FAX 22-9694 ✉ museum@city.iga.lg.jp



市では、新しい芭蕉翁記念館と博物館、美術館を兼ね備えた施設を「美術博物館」と総称して、その建設に向けた検討を進めています。

### ◆伊賀市の豊かな歴史文化

伊賀市は古来より、芭蕉翁の俳文学・伊賀焼・伝統行事など、固有の文化を育んできました。また、絵画書、文学などさまざまな分野で多くの偉大な文化人や芸術家も輩出しています。そのほか、歴史的な遺産や遺跡も数多く有し、指定文化財は県内最多の数を誇るなど、豊かな歴史文化があります。

### ◆伊賀市の課題

しかし、伊賀市にはその豊かな歴史文化を適切に保存する施設がありません。芭蕉翁記念館は老朽化が深刻な課題となっております。また、歴史資料や美術作品なども適切な保存環境ではありません。この課題を解決しないままでは、大切に受け継がれてきた貴重な歴史文化資料は失われてしまいます。また、市民の皆さんが市の歴史文化やその魅力を知る機会が少ないことも課題です。



### ◆なぜ必要なの？

この課題を解決するために、美術博物館が必要です。美術博物館は、収蔵庫を設置し、学芸員を配置して、「伊賀の歴史文化」を適切に保存・管理し、研究し、未来に引き継いでいくための施設となります。



また、公開・活用して市民の皆さんの身近に歴史文化に触れる場を作ること、地域への愛着や、未来を担う子どもたちの豊かな感性を育む場として未来への投資を行います。

### ◆なにをめざすの？



### ◆パブリックコメント(ご意見)を募集しています

建設に関する課題、目的、方向性などを明確にするため、基本構想の策定を進めています。この伊賀市美術博物館基本構想(中間案)に対するご意見を募集しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

### 【提出方法】

住所・氏名・電話番号・件名・該当箇所とそれに対する意見内容を明記の上、美術博物館建設準備室までウェブフォームからも提出できます。



※持参の場合は各支所でも受付  
※提出いただいたご意見は、個別の回答は行わず、検討資料として市ホームページで公表します。

### 【閲覧場所】

○美術博物館建設準備室 (本庁舎4階)

○芭蕉翁記念館

○各支所

○各地区市民センター

○市ホームページ

### 【募集期限】

3月26日(火) 午後5時 ※必着

## 三重県広報コンクール「組み写真の部」

## 審査員特別賞を受賞

三重県広報協会が主催する「令和5年度三重県広報コンクール」の広報写真(組み写真の部)で、「広報いが」が令和5年12月号4～5ページが審査員特別賞を受賞しました。受賞した組み写真は、12月号の特集として、4年ぶりの通常開催となった「上野天神祭」取材し、コロナ禍前の城下町の活気にぎわいが戻ってきたことを伝えたいと考え、祭りに参加する人の「笑顔」をテーマに構成しました。



祭りをつくる人、見る人の双方の笑顔を、ダンジリの曳き手、囃子方、鬼や見物客などさまざまな視点で撮影しました。市では、今後も読者の皆さんに伊賀市の魅力を伝えるため、「伊賀市広報」の腕章を付けて取材していきます。もし見かけた時は取材へのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



上野天神祭のダンジリ 行事を未来へ  
笑顔がつなぐ 四百年の歴史

### 読者アンケートに「協力ください」

「広報いが」についてあなたの声を聞かせてください。回答方法など詳しくは市ホームページをご覧ください。



### 【問い合わせ】 秘書広報課

☎ 22-96936 FAX 24-79000  
✉ hisho@city.iga.lg.jp